特別賞

アツいぞ！台湾北東部。目で見て学びたい台湾。

猿渡マイリ・鈴木理香子
三井しえり・松本紀香
金城学院大学

エリア
北部　東部

テーマ
歴史　文化　政治　民族　自然　建築　食文化

10 人や国の不平等をなくそう　16 平和と公正をすべての人に

学びのポイント

「台湾で歴史を学ぶ」というと台湾南部が注目され、北部は一般的な観光ツアー、東部は少しマニアックなリピーターのための観光ツアーの地域だと考えられがちです。しかし、北部と東部の歴史に目を向けると、日本統治時代から戦後、そして現代の歴史までを学ぶことができます。北部では故宮博物院と二二八事件関連の施設や大学を、東部では原住民の暮らしや製糖工場を見学することで、日本の高校・大学では扱われることが少ない近代台湾の歴史や文化を学べます。さらに、現代の台湾にも着目し、桃園・大渓では蒋介石の愛した地についての知識を深めます。「過去から現在、未来へと受け継がれるものは何か？」という課題をそれぞれの地域、時代を通じて考え、近現代の台湾社会の多様性を検討する機会をつくります。また、現在の台湾で周辺諸国との関係にも触れるような体験や学びを得ることで、多言語・文化・地域の学びへの意欲が高められます。

参考文献

赤松美和子・若松大祐編『台湾を知るための72章 第2版』明石書店 2022年

五十嵐真子・三尾裕子編『戦後台湾における〈日本〉植民地経験の連続・変貌・利用』風響社 2006年

植野弘子・三尾裕子編『台湾における〈植民地〉経験 日本認識の生成・変容・断絶』風響社 2011年

片倉佳史『台湾のトリセツ』昭文社 2022年

周婉窈『増補版 図説 台湾の歴史』平凡社 2013年

※こちらのコースは「みんなの台湾教育旅行記」2023年10月に募集したものをベースに加筆・添削し写真を一部差し替えてあります。

国立台湾博物館（台北市）

台湾で最も歴史のある博物館の一つで、亜熱帯から熱帯に位置する台湾の生態系のほか、政府公認の16の原住民の文化や歴史、そして彼らの暮らしなどを学ぶことができます。

台北二二八紀念館（台北市）

日本統治時代の台北放送局。二二八事件という重要な事件について学べる場所でもあります。思わず目を背けたくなる展示もありますが、自らの目で見て学ぶべき歴史です。

蘭陽博物館（宜蘭市）

清代に宜蘭で初めて開港した港、頭城烏石湊跡にあり、原住民の暮らし、宜蘭県の自然、文化、歴史に関する学びが得られます。宜蘭への入り口となる博物館で文化や歴史を学びましょう。

花蓮観光糖廠（花蓮市）

日本統治時代の1921年に塩水港製糖株式会社が建設した大和工場が前身です。戦後は台湾糖業公司に接収されましたが、2002年に生産停止、その後リノベーションされ、現在は観光スポットに転換されています。

慈湖紀念雕像公園（桃園市）

1948年に中華民国総統に就任し、一時下野することはありましたが1975年に亡くなるまでその地位にあった蒋介石の銅像が200体以上立ち並んでいます。かつて公共機関などに置かれたものの撤去されて行き場を失った像が集められ、展示されています。これだけ多くの蒋介石の表情が見られるのは、“ココ”だけ。

1日目
- START　台湾桃園国際空港
- 台北
- 国立故宮博物院
- 国立台湾博物館
- 台北二二八紀念館
- 二二八和平公園
- 国立台湾大学
- 公館夜市

2日目
- 宜蘭県立蘭陽博物館
- 花蓮観光糖廠
- 花蓮文化創意産業園区

3日目
- 慈湖紀念雕像公園
- 大渓老街
- 大渓木芸生態博物館
- 桃園神社

4日目
- 総統府
- 行政院
- GOAL　桃園国際空港